

登録コード	UAI22600	開講年度	2026			
授業題目	貨幣経済学特講					担当教員 ウェステニウス 嘉晃
						副担当
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・3時限	
			授業形態	講義		
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」					【授業の達成目標】
	2 6 UAカリ・総人社・経済学, 2 5 UAカリ・総人社・経済学					
	【経済学】経済学分野の高度で先端的な知識と技能を有する。					⇔ 貨幣経済学の高度で先端的な知識と技能を有する。
	【経済学】専門知識に基づく論理的な思考の下に、地域・社会・経済について、必要な量的・質的データを採取する能力及び、採取したデータを用いた実証分析や社会調査を行う能力を有する。その分析能力を、地域・社会・経済の課題解決に多面的に展開できる応用力を有する。					⇔ 貨幣経済学の専門知識に基づく分析能力を、地域・社会・経済の課題解決に多面的に展開できる応用力を有する。
(2)授業の概要	この講義では、貨幣経済学 (Monetary Economics) の理論に基づいて、インフレーションや景気循環といった重要な概念について整理したのち、経済における中央銀行の役割や、望ましい金融政策のあり方について説明する。 遠隔授業を実施する際は、Zoomを使用したリアルタイム・オンライン授業とする。ZoomミーティングのURLは、ポータルサイトまたはメールにて事前に連絡する。					
(3)授業計画	第1回 導入 第2回 金融政策のオペレーション 第3回 中央銀行の政策ルール 第4回 中央銀行の政策問題 第5回 金融政策のマクロ経済学的基礎 第6回 価値評価と企業の意味決定 1：投資の価値 第7回 価値評価と企業の意味決定 2：消費者の選好 第8回 景気循環とインフレーション 第9回 古典的な貨幣モデル 1：理論 第10回 古典的な貨幣モデル 2：数値計算 第11回 ニューケインジアンモデル 1：理論 第12回 ニューケインジアンモデル 2：数値計算 第13回 ニューケインジアンモデルにおける金融政策 第14回 総括 レポート課題等の出題時期や提出期限等については初回又はeALPSにおいて適宜周知します。					
(4)成績評価の方法	レポートの成果によって評価する。					
(5)成績評価の基準	(i) 問題の設定が適切であり、(ii) その問題の背景を説明できており、(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「合格水準にある」。					
(6)事前事後学習の内容	事後学習として、毎回の講義で出題される課題に取り組むこと。					
(7)履修上の注意	金融論の基礎的な知識を前提とする。					
(8)質問,相談への対応	メール (westenius@shinshu-u.ac.jp) にて質問・相談を受け付ける。					
【教科書】	・清水克俊「金融経済学」東京大学出版会 (2016年) ・Jordi Gali. 2015. Monetary Policy, Inflation, and the Business Cycle (2nd edition). Princeton University Press					
【参考書】	授業中に適宜指定する。					